

まどいの扉Ⅱ

佐世保市立中里中学校だより(第13号)

令和3年7月19日 文責 富野 毅

学校 HP



学校教育目標「学び合い 磨き合い 鍛え合う 生徒の育成」

修学旅行での学び

鮮明な写真は
ぜひ HP でご
覧ください。

7月13日(火)～15日(木)の2泊3日の日程で、3年生が修学旅行に出かけました。当初は京都・大阪方面で学ぶ予定ではありました、感染拡大地域であることや往復の時間や交通機関でのリスクを避けることもあり、熊本方面へ変更して実施しました。

今回、行き先を熊本方面にした大きな理由の一つに「防災教育」の側面がありました。未だ生徒の記憶に残っている熊本地震がどのような災害であったか、今後地震や水害などの災害に対してどのような備えをすべきかなど、実際に見たり聞いたりすることで深く学べる修学旅行にしたいと考えていました。

初めて南阿蘇村の「震災遺構」を見学しましたが、地震の威力の恐ろしさを改めて感じることができました。現地のガイドの皆さんも、思いもしなかった大きな地震で感じられたことを、臨場感のある中でお話してくださいました。生徒の心に残り、これから生き方に影響を与えたものだと思います。また、阿蘇のトレッキングや熊本城の見学において、それぞれの場所でボランティアとしてガイドをしていただきました。わかりやすく説明してくださることで、学びは深まりました。阿蘇の大観峰ではその雄大な阿蘇五岳の姿を見て感嘆の声をあげていた、生徒の感受性の豊かさに喜びを感じました。グリーンランドではグループ活動の良さや難しさを感じたようでした。

天候も含め、今回の修学旅行は様々な面で恵まれたものになりました。行く先々で温かいガイドをしていただいたり、ホテルでの忘れ物など丁寧に対応していただいたり、バスの運転手さんやガイドさんが、交通安全に配慮いただいたりと、感謝の気持ちでいっぱいになりました。

本校3年生はその気持ちを、さわやかなあいさつで表現してくれました。代表生徒の言葉もそうですが、本当に一人一人がよく考えて、お礼の言葉やあいさつなどで、自分の気持ちを表現していました。ホテルでも見学地でもバスでも、そのすばらしさをお褒めいただきました。

「中里中ブランド」という言葉をよく使いますが、まさに中里中学校生徒の、他には見られない、規範意識がある中で、さわやかな表現力をもち生活に生かす日頃の姿を、この修学旅行で発揮してくれました。この2泊3日の体験を、今後の生き方につなげてほしいと願っています。

